

青森の香り産業創出事業

－植物系芳香成分の利用技術の開発－

The project to launch the scent industry of Aomori Prefecture
-Development of utilization technology of plant system perfume components-

山口 信哉・宮木 博・菊地 徹・内沢 秀光・福士 充*
(*大湊興業(株))

ハマナス(学名 *Rosa rugosa*) は青森県内では下北半島が産地として有名であるが、バラ科(ハマナスの英語名 Japanese Rose) のこともあり、その花は非常に華やかな香りを有している。一般に花は、香りを呈する精油分が非常に少ないこと、また香りの一般的な水蒸気蒸留(100℃に熱した水蒸気を吹き込む方法)による抽出法では、香りが熱により変質してしまうこともあり、香りの抽出は困難であった。そのため一般的には有機溶剤が用いられている。

青森県における天然のハマナスの香りを利用した製品の開発を目指し、最初に香りの新規抽出方法について取り組んだ。結果、花を 10%(w/v)以上の食塩水に浸漬すること、または、花を水に浸漬し、冷凍、解凍すると、香りが抽出されることがわかった。また、このハマナス花の香りを睡眠時に噴霧すると、睡眠状態の熟睡睡眠の時間を延長する効果が見られ、睡眠改善に有効であることが明らかとなった。



ハマナス花の香りの抽出に及ぼす食塩濃度の影響

ハマナスの花と香りを有する抽出溶液

食塩濃度 (%)	ハマナスの香りの抽出結果
2	× (香りなし)
5	△ (香り弱い)
10	○ (強い香り)
20	○ (強い香り)